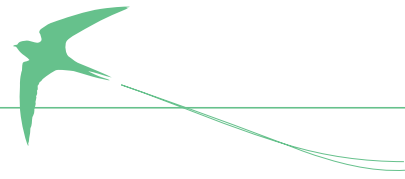


豪雪から解き放たれるように、一斉に芽吹きはじめる樹木たち、東北各地の森林管理署からも新しい春の便りが届きました。春の息吹のように、さあ、がんばろう、東北!



平成22年度置賜間伐 推進研修会を開催

置賜森林管理署



当署と山形県置賜総合支庁森林整備課は、3月3日(木)、山形県米沢市内の置賜総合支庁において「平成22年度置賜間伐推進研修会」を開催し、林業士会をはじめとする林業関係者、民有林行政担当者、国有林関係者など約70名が聴講しました。

間伐研修会は、置賜総合支庁森林整備課が置賜地域の間伐推進と地域材の需要拡大のため毎年開催してきたものですが、今回は、森林・林業再生プランを踏まえ、置賜地域の間伐と木材利用をより一層進めるためのきつかけづくりとして共同で開催したものです。



署長による開会あいさつ

当日は、列状間伐等を先がけて実践してこられた、島崎洋路元信州大学教授による講演に始まり、当署及び管内民有林の列状間伐施業地の事例紹介等が行われました。

島崎氏の講演では、戦後の日本の林業が辿った道筋から、間伐が遅れる状況と背景について、その状況下で列状間伐を考案に至った理由、そして保残木マーク法を含めたさまざまな間伐の手法について熱のこもった講話を頂きました。

当署からは、東北森林管理局が進める国有林の列状間伐について、民



島崎氏による講演の様子

有林からは、置賜総合支庁森林整備課と米沢地方森林組合による県内林内の列状間伐の実績及び山形県



各地からの
便り

森林研究研修センターの雪害調査報告が行われました。

置賜地域では多くの人工林が間伐適期を迎えており、民有林国有林を問わず、間伐をはじめとする森林整備に取り組んでいく必要があります。

この間伐研修会をきっかけに一層の連携を図りながら間伐や木材利用の推進に取り組んでいきたいと思

直轄地すべり防止事業

「銅山川地区」技術 検討会の開催

銅山川地すべり
概成に向けた最終検討

治山課

直轄地すべり防止事業を行っている「銅山川地区」における早期安定化に向けた地すべり対策を検討することとして、2月16日(水)から17日(木)にかけて学識経験者及び地元行政担当者等による第1回直轄地すべり防止事業「銅山川地区」技術検討会を開催しました。

銅山川地区の地すべり対策は、地すべりの長さ約1300メートル、幅約1100メートルと規模が大きく、復旧に高度な技術を要することから、



みどりの東北



技術検討会

山形県及び大蔵村からの強い要請を受け、平成4年より直轄地すべり防止事業に着手し対策を進めてきました。

しかし、平成8年5月の融雪期には、地区内の南山区域において130ヘクタールにも及ぶ地すべりが発生し、地域の幹線道路である国道458号線の一部が陥没し肘折温泉への交通が寸断されたり、林地や農地にも多数の亀裂や陥没が発生するなどの被害を受けました。

当地区では、地すべりにより不安定となった林地・農地の保全、生活基盤の中心である国道の確保等が課題であり、健康で快適な生活環境を確保するためには、地すべりの早期安定化が重要となっております。

現在、平成12年度に策定された全体計画に沿って計画的に対策工を進めています。全体計画策定から10年（平成4年の直轄事業開始から19年）を経過し、これまでの施工効果や課題を評価・検証したうえで、地すべりの早期安定化（概成）に向けた具体的な対策やモニタリング計画を盛り込んだ全体計画の検討を行うこととして検討会を設立したものです。

初日は、現在施工中の排水トンネル内の視察を行い、これまで施工した対策工の状況等について調査しました。2日目の技術検討会では、東北学院大学の宮城豊彦教授が議長に選出され、最新の地すべりの安定解析手法の検討や地すべりの長期安定性評価の考え方等について議論が行われました。

今後、約1年間にわたり検討を重ね、具体的な対策やモニタリング計画を盛り込んだ全体計画が策定されますが、本検討会で得られた成果は、大蔵村地域の安全・安心な生活の確保はもとより、今後、大規模地すべりが発生した場合のモデルとして対策や監視体制構築に大きく貢献するものと期待が高まっています。



トンネル坑内



トンネル落込みボーリングの集水状況

●主な検討項目

1. 全体ブロックの概成計画
 - ① 地すべりの立体的構造と安定解析
 - ② 地下水文状況の検討
 - ③ 対策工施工の効果を検証
 - ④ 全体ブロックの対策
2. 小ブロックの概成計画
 - ① 全体ブロック縁辺部ブロックの対策
 - ② 古水川沿い小ブロックの対策
3. 概成後の監視体制の検討
 - ① 対策工効果判定と概成後のモニタリング計画
 - ② 防災体制構築のための基礎データ提供についての検討



その他「ボランティアの皆さんが館内とその周辺の森林について案内します。また、各種イベントを企画しております。詳細につきましては、東北森林管理局ホームページ http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/introduction/gaiyou_kyokuanainibetu/index.htm をご覧ください。

仁別森林博物館
4月29日(金)から開館

天然秋田杉や森の中の動植物、林業の歴史等について紹介している仁別博物館は冬期間閉鎖していましたが、今年も次の日程で開館いたします。

開館期間 平成23年4月29日(金)～平成23年11月3日(木)

開館日 金曜日～月曜日、祝祭日

開館時間 午前10時～午後5時(ただし、10月以降は午後4時まで)